

## Smart Times

米マイアミのスタートアップ、Papaが話題を呼んでいる。高齢化が進み、孤独と日常生活の不便さを感じているシニア世帯に大学生を派遣するアプリサービスだ。シニアがアプリに

登録すると、登録済みの大学生とシニアをマッチングしてくれる。学生が車で買い物に同行したり、家事やパソコン操作などのサポートや話し相手になることで報酬を得るビジネスだ。Papaを利用するシニア

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート（現リクルートホールディングス）入社。首都圏営業部長などを経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

アにとって利便性だけでなく、電子カルテシステムに若返りや健康につながり、医療ビッグデータの活用が可能になった。医療業界はICT（情報通信技術）化が進展し、ヘルステ

塊の世代が75歳になり、医療や介護などの社会保障費が急増する「2025年問題」は先送りできない。後期高齢者が約2200万人で4人に1人が75歳以上となり、孤独や不便を感じる高齢者の生活を支える仕組みの再構築が急務だ。日本のヘルステックは医師と患者のオンラインに開くヘルステック分野への投資や、アプリ開発から関連機器やオンラインサービスに取り組みスタートアップ企業が増えている。日本のヘルステックの未来が医師から患者への図式から、自らが健康情報を管理活用する社会へと姿を変え始めた。

## 社会支えるヘルステック

取り組みが加速している。P H R が切

社とパートナーシップを結び事業を拡大している。高齢化が進む世界各国で、ヘルステックへの取り組みが進行している。ヘルステックとはヘルスケアとテクノロジーを掛けた造語で、病気の予防や健康管理、診療後のアフターケアサービスの概念だ。医療情報の電子化が進大している。5年後、団塊の世代が75歳になり、医療や介護などの社会保障費が急増する「2025年問題」は先送りできない。後期高齢者が約2200万人で4人に1人が75歳以上となり、孤独や不便を感じる高齢者の生活を支える仕組みの再構築が急務だ。日本のヘルステックは医師と患者のオンラインに開くヘルステック分野への投資や、アプリ開発から関連機器やオンラインサービスに取り組みスタートアップ企業が増えている。日本のヘルステックの未来が医師から患者への図式から、自らが健康情報を管理活用する社会へと姿を変え始めた。